
劇場小説版ハッピーツリーワールド真実(まこと)が動いた頃に東方真実劇

台風X号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

劇場小説版ハッピーツリーワールド^{まじく}真実が動いた頃に東方真実劇

【Nコード】

N8220I

【作者名】

台風X号

【あらすじ】

夜明頃から2カ月も経たなく、新たな敵が現れたそいつの名は、^{ゴハヒコノミコト}墮天使、御刃彦之尊だった。

(前書き)

ついに、新しい劇場小説版が出来上がりました。感想と評価の程を
宜しくお願い致します。

今日は、最悪な日だった。

雨が降った後、妖怪に襲われそうになった時、ある人が助けてくれたから。

霊夢「あの人の名前って確かーセルインジー・キリストさんだったよくな？」

杂陀「ブラックカトリック、お前がしていることが分かっているのか？」

ブラックカトリック「堕天使御刃彦之尊ゴハヒコノミコトは、この地球を滅ぼせる力がある。それを俺が一部を取り込んで、破壊するのさ。」

邪悪な空気が再び、動き出す。

劇場小説版ハッピーツリーワールド真実が動いた頃に東方真実劇

文「大スクープだよー。」

射命丸文、彼女は、文々。新聞を発行して有名になった風神少女だ。

623「どんなスクープだろうか、楽しみだ。」

文々。新聞に書かれていたのは、とんでもないことだった。

カドルス「御刃彦之尊が復活、地球滅亡の危機到来か？」

モール「御刃彦之尊、はるか昔に、アマテラスオオミカミ天照大神を殺そうと企てた天使です。彼は封印されてしまいましたが、封印が解けたということは危険です。堕天使に成りている御刃彦之尊はどんだけの力を持つかわかりません。」

サイエレンス「どうも、グルがいるらしい。」

トウダイグサ・スカーレット大佐「御刃彦之尊の能力値は、攻撃力29億、防御力28億9千万、素早さ450兆だつて。」

セルインジー・キリスト「諏訪大社へ、ちょっと行ってきまーす」

ナズーリン「チーズ、チーズ」

みんなはこけていた。

首領パッチ「チーズがそんなにほしいならあげるよ、エイッ。」

ナズーリン「チーズ？」

アングル・水素「首領パッチ、剣符 蒼天の黙示録」

首領パッチ「ぎゃー」

トウダイグサ・スカーレット大佐「禁忌 おふざけは許さない」

天の助「ってなんで俺」

ほかのみんなは、強い溜め息をついた。

御刃彦之尊「よしっ、野郎ども出撃準備だ。」

「オオー」

リアルワールド 人間界

ニヨロモ「敵が来ないうちに、さっさと仕上げるニヨ。」

赤ニヨロモ「敵が来たニヨー」

キッズウイン「聖雷 サンタサンダーソード」

黄ニヨロモ「キッズウイン！」

キッズウイン「ニヨロモ達は、急いで闇幻想郷に行つて来て、ここは僕が殺る。」

妖怪「貴様に何ができる。」

キッズウィン「お前ら、妖怪を消すのさ、聖なる雷よ解き放たれろ、
聖雷 サンタサンダー」

「ぎゃあー」

キッズウィン「言い忘れたけど、僕も妖怪だったへっ」

ハッピーツリーワールド 闇幻想郷

「
フレイキー「えー、キッズウィンさん、ほかの妖怪と戦っているの。」

ニヨロモ「そうなんですよー援軍、つけないと、キッズウィンかわいそうだから。」

「私が行ってきましようか？」

フレイキー「八雲紫さん！」

紫「キッズウインの援護なら、私が得意事ですし、境界を使って妖怪たちを抹消出来ますわ。」

フレイキー「僕もいくですう。」

紫は、困ってしまった、

「いいけど、フリッピーさんとフロッグマンを連れていったらどう？」

カドルス「そういえば、あいつがいたような？」

トウダイグサ・スカーレット大佐「あいつのことなら、心配するな、いつもいなくなるから。」

アングル「水素「革命と。」

カドとトウ「何ー革命きちやった。orz」

アングル「水素「革命が来て落ち込んでいるのか？」

トウダイグサ・スカーレット大佐「負けが確定しつちまうんだよ。」

カドルス「ここは、いいところだと思つと必ず其れを、奪つなんて戦略性は緩めてよ。」

テリハニシキソウ一匹狼兵「御刃彦之尊が復活したのだと！」

ぬえ「そうよ。私、なんか裏切られた感じするわ。」

妖怪「やっちまおうぜケツケケケケケケ」

テリハニシキソウ一匹狼兵「ぬえ、先に行つててくれ。」

ぬえ「わかつたわ。」

テリハニシキソウ一匹狼兵「透明 ファッシュ」

妖怪「姿が見えないぞ、ギャー」

妖怪の首筋から血が大量に出ていた。

「この野郎、どこに居やがるグワー」

次々と倒されていく、妖怪たち。

リアルワールド

諏訪大社

本社

諏訪子「セルインジー・キリストさんだ。」

セルインジー・キリスト「神奈子は、いるかい？」

諏訪子「いるけど？」

セルインジー・キリスト「緊急事態だ。世界が滅びる。」

早苗「それってどういうこと説明してくれない？」

セルインジー・キリスト「御刃彦之尊が怒りの復活をしてみました。そいつは、一度、天照大神を暗殺しようとしたくらんだ天使で、私が、そいつを封印したつまり責任者でもある。ブラックカトリックが、封印を解いたのなら、ブラックカトリックは殺されて、御刃彦之尊だけが、墮天使として蘇った可能性は高い。」

牟陀「くそっ、ブラックカトリックめ、解き放った途端、吐血して死にやがって。」

セルインジー・キリスト「牟陀、無事だったか？」

牟陀「無事じゃねえーよ、左腕を見る、御刃彦之尊の羽根で切られた、奴は、とんでもねえーほど強いぞ。」

セルインジー・キリスト「だからって御刃彦之尊を殺す作戦を考えなければな。」

神奈子「聞いたぞ、その話。」

諏訪子「私たちも、その御刃彦之尊を倒すの？」

イエス・キリスト「息子の話を聞いたらきつちまった。」

仏陀「私も、其の戦いに参戦しよう。」

神奈子「今は、宗教なんぞ、どうでもいい、堕天使を倒すなら、仏教もキリスト教も神道も関係ない。自由を奪うものはみんな敵だ。」

御刃彦之尊「神々が集まったところで、何に成る。」

ハッピーツリーワールド 闇幻想郷

そろそろ、神と堕天使の戦いが始まったと思った。

御刃彦之尊が繰り出した妖怪を退治しながら。

リアルワールド 人間界

キッズウインはばてていた。

「死ねー」

「黒穴 ブラックホールキャノン」

「フロッグマン」

「援護してやるぜ。」

「僕が呼んだですう」

フレイキーがそういった。

「聖雷 サンタサンダー」

「黒穴 X線の大喝采」

二つの力は一つに成り、妖怪たちを跡形もなく消した。

リアルワールド 人間界 諏訪大社

「罪滅 根源の罪を途絶えよ」

御刃彦之尊「お前等の、命は、ここまでだということを教えてやる。」

神々「なにっ！」

御刃彦之尊「burst dark of death evolution」

諏訪子「これって、まずいかも。」

予感は的中した。

御刃彦之尊「俺は、あの異次元に幽閉されてから以降、この力を手に入れた。わが名は、御刃彦之尊第二形態。」

「地球を壊させるわけには、いかない。」

御刃彦之尊第二形態「何者だ。」

「センタンサンマツエゴタイヒコ 棧弾山松江御醒彦だ。」

ハッピーツリーワールド 闇幻想郷

「セルインジー・キリストの十字架セイバーだ。」

銀時「これは、まずいぞ。」

「牟陀の卍天楼まである。」

人間界 リアルワールド

フレイキーはあるメモ帳の紙を見つけた。

フリッツピーが読んだ。

「闇幻想郷へ戻りなさい、そしてニヨロモ達に作らしてもらった神器を神武天に組み合わせれば、最強の剣ができる。その剣の名は、十仏の剣だ。その剣を、セルインジー・キリストに渡せそうすれば、御刃彦之尊を倒せる。急げ時間がない。」

フロッグマン「御刃彦之尊を倒すには闇幻想郷に行き、神武天と神器を組み合し、そしてまたリアルワールドにある諏訪大社へ行かなければなりません。ブラックホールで闇幻想郷まで送ります。」

紫「ちよっ、待ってよ、私の境界なら一発だわ。」

フロッグマンは、少女の姿に成っていた。

フロッグマンの一番の理解者、キッズウインはいい提案だと言った。

「僕は、寒冷化異変を起こす時、闇幻想郷をブラックホールの力で人間界へ行ったことがあります。フロッグマンのブラックホールは、紫さんの境界と同じ速さでたどり着けます。」

フロッグマン「黒界 ワープ・ザ・プラネット」

闇幻想郷 ハッピーツリーワールド

カドルス「フロッグマン、神器の仕上がりはどう？」

ニヨロモ「いい感じにできたでしょ。」

トウダイグサ・スカーレット大佐「ぐずぐずしている場合じゃないぞ。ロザリオセイバーと卍天楼は用意した。」

神器と神武天を重ねた時、一筋の光が弾幕のように四方八方に散らかった。

リアルワールド 人間界 諏訪大社

神々は、地面を這い蹲すくっていた。

神奈子「くそっ、ここで残酷に散るわけにはいかない。」

セルインジー・キリスト「もはや、これまで」

御刃彦之尊最終形態「神を越した力に逆られる様な者はない。」

「それはどうかな、セルインジー・キリスト受け取れー」

ガシッ

セルインジー・キリストは十仏の剣を持った。

「神を殺そうとした罪、償ってもらおう、ここで。墮天使の血を流して、命よ散れ。」

御刃彦之尊最終形態「セルインジー・キリスト、貴様の持つ剣なぞ、

怖くない。」

「だったら、受けれ、この剣を。」

「神は、俺の敵ではない死ね、??? グランドクロス」

弾幕を避けていき、そしてセルインジー・キリストは御刃彦之尊の心臓を一刺しした。

「神殺しは、堕天使には不可能だ。」

返り血を浴びた、セルインジー・キリストは、そう語った。

御刃彦之尊は、命を落とした。

翌日

闇幻想郷 ハッピーツリーワールド

フリッピー「長い闘いから、解放されてよかった。」

キッズウィン「聖雷 サンタサンダー」

「うわぁ、びっくりした。なにすんだよー」

「ごめん、ごめん」

しかし宇宙になにやら怪しげな影が映るうとしていた。

「宇宙は俺が壊す。」

「我は、ある生命体から作られたもう一つの生命体、この宇宙を恐怖のどん底に落とすことなぞ、容易いことだ。」

終 演

次回作決定

劇場小説版ハッピーツリーワールド黒き宇宙に潜む危機シンシエニ
モン襲来

新年スペシャルにて登場予定

(後書き)

次回作も決定してはいますが、1月は二つも劇場小説が登場します。
お楽しみに

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8220i/>

劇場小説版ハッピーツリーワールド真実(まこと)が動いた頃に東方真実劇

2010年10月15日23時37分発行